

【ご案内】SDGs 達成のための国際連帯税を実現するシンポジウム 2019

●呼びかけ

・2015年国連は持続可能な開発目標（SDGs）を採択しました。それは世界の貧困、持続可能な経済、気候変動など山積する地球規模課題への対応を、「誰一人取り残さない」という理念のもとに達成しようというものです。しかし、SDGs達成のためには、毎年2兆5000億ドルもの資金ギャップがあるとされています。これを克服するための有効な方法が国際連帯税です。

・国際連帯税とは、グローバル化によって利益を得ている経済活動に広く薄く課税し、その税収をSDGsなど地球規模課題に使うという税システムです。国際航空券税や金融取引税などがそれです。今日国際連帯税のイニシアチブを国の内外で振っているのが、河野太郎外務大臣です。

・本年9月には「国連第1回SDGサミット」が開催され、首脳レベルで実施状況をレビューする年ですが、開発資金についても議論されます。私たちはこのサミットに向け、国際連帯税実施の機運を高めるためにシンポジウムを開催します。

・本シンポジウムの特徴は、次の2つです。ひとつは、金子宏・東京大学名誉教授の昨年の文化勲章受章記念という性格をもちます。もうひとつは、「学生たちとの対話」というセッションを設け、次代を担う若者たちのSDGs活動や国際連帯税活動への参加を促していきます。

●日時・会場

- ・日 時：7月24日（水） 13時30分～17時00分（終了後、懇親会を行います）
- ・会 場：衆議院第一議員会館 国際会議室

●主催・共催・後援

- ・共催：グローバル連帯税フォーラム、国際連帯税アドバイザー・チーム
- ・後援：国際連帯税創設を求める議員連盟、日本リザルツほか

●プログラム（予定）

第一部：あいさつ&講演

- 1) 挨拶：衛藤征士郎・国際連帯税創設を求める議員連盟会長（衆議院議員）
ローラン・ピック フランス駐日大使（要請中）
- 2) 文化勲章受章・記念講演とコメント
記念講演：金子 宏・東京大学名誉教授
コメント：津島雄二・元厚生大臣／初代国際連帯税議連会長
- 3) 講演：「なぜ世界は国際連帯税を求めるのか～SDGsと国際連帯税～」(仮題)
上村雄彦・横浜市立大学教授

第二部：学生たちとの対話

第三部：パネル討論「テーマ：SDGs達成のための新しい資金の使途と提言」(仮題)

－国際機関、感染症患者代表、栄養／感染症分野、気候変動分野、労働組合・NGOから発言

第四部：宣言文採択

<お申込リンク>

<https://forms.gle/B4qGmX5vs67Yx74s9>

<お問合せ>

グローバル連帯税フォーラム 090-3598-3251（担当 田中） eメール gtaxft@gmail.com

日本リザルツ 03-6268-8744（担当 梅木） eメール toshihide.umeki.results@gmail.com